

しおがま 市議会だより

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Feb.2025 (令和7年2月)
ホームページアドレス <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/life/5/36/>

令和6年 12月定例会号

- 議案審議の概要 P2
常任委員長報告
- 討論 P3
- 議会中継のお知らせなど P4
- 市政に対する一般質問 P5～9
- 議案等賛否一覧表など P10



【塩竈市議会ホームページ】
市議会の情報は市議会HPで
ご覧になれます。



初詣客でにぎわう宮町周辺

定例会会議日程

本会議	12月11日	会期の決定、諸般の報告、専決処分承認、議案説明、総括質疑、議案付託
委員会	12月13日	総務教育常任委員会
委員会	12月16日	民生常任委員会
委員会	12月17日	産業建設常任委員会
本会議	12月18日	市政に対する一般質問
本会議	12月19日	市政に対する一般質問
委員会	12月20日	議会運営委員会
本会議	12月23日	各常任委員会委員長報告・討論及び採決、追加議案説明・審議及び採決
委員会	12月23日	民生常任委員会

令和6年12月定例会は、12月11日から23日までの13日間の会期で開催しました。

本会議の初日では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑の後、所管の常任委員会にそれぞれ付託しました。また、専決処分承認案件1件を即日審査の上、可決しました。

各常任委員会は3日間開催し、付託した議案の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をいただきました。

最終日には、各常任委員会委員長から審査結果の報告を受け、議案8件を可決し、1件を否決しました。また、追加議案1件が上程され、市長より議案の説明を受けた後、即日審議の上可決し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

定例会のあらまし

4億4901万円の
増額補正予算を可決

12月定例会における一般・
企業会計の補正予算は4億4
901万円で、補正後の予算
総額は536億2485万2
千円となりました。
主な事業は次の通りです。

一般会計

〔補正額〕

4億3893万9千円

1 国の補正予算を活用した
事業

〔補正額〕 2億3018万円

○低所得者支援給付事業
特に物価高の影響を受ける、
低所得世帯を支援する目的で
住民税均等割の非課税世帯に
3万円、さらにその世帯内で
扶養されている18歳以下の児
童1人当たり2万円を給付

2 通常事業

〔補正額〕

2億875万9千円

○ふるさと納税関連事業費
(補正額 1億5千万円)
ふるさと納税が好調であるこ
とから、御礼品などの経費を
増額し、ふるさと納税の一部

を市役所本庁舎建設費用の一
部として積立て
など

企業会計

〔補正額〕

1007万1千円

○市立病院事業
新興感染症の流行に備え、敏
速な診断や安全な診療体制構
築のため、新たな機器を整備

条例

塩竈市国民健康保険条例の
一部を改正する条例(1年間
健康保険を利用しなかった世
帯に対し、表彰として金券を
配布する制度の廃止)

外3件

常任委員長

報告

12月定例会において、議案
9件を各常任委員会に付託し、
慎重に審査が行われました。
委員長報告の要旨は次のと
おりです。



総務教育常任委員会

委員長 浅野 敏江

○議案第91号、第96号、第99
号は原案のとおり可決し、議
案第92号は否決すべきものと
決しました。

〔特別職の職員の給与に関す
る条例等の一部を改正する
条例の要望意見〕

○特別職の期末手当などは、
一般職とは異なり人事院勧告
に基づかず独自で決めていく
べきである。しおナビバスや
公共施設の料金を値上げして
いる中で、特別職の期末手当
を上げるとは市民も納得し
ない。改定に当たっては、パ
ブリックコメントなどで市民

の声を聞くことも考えるべき
である。



民生常任委員会

委員長 菅原 善幸

○議案第93号、第96号、第97
号は原案のとおり可決すべき
ものと決しました。

〔塩竈市国民健康保険条例の
一部を改正する条例の要望
意見〕

○現行の表彰制度を廃止し、
新たな健康づくりの取組を行
うが、健康増進に関心が高い
市民も多いことから、広く細
やかな周知に努められたい。

〔塩竈市国民健康保険条例の
一部を改正する条例の要
望意見〕

○議案第94号は委員会におい
て更なる議論が必要と判断し
閉会中の継続審査を議長に申
出しましたが、継続審査に反対
する議員から、先延ばしせず
速やかに判断すべきとの意見
があり、本会議において継続
審査は認められませんでした。
そこで、再度委員会を開催し、
質疑採決の結果否決すべきも
のと決しました。

○国保保険料の水準は社会保



産業建設常任委員会

委員長 土見 大介

○議案第95号、第98号は、原
案のとおり可決すべきものと
決しました。

〔塩竈市水道事業給水条例の
一部を改正する条例の要望
意見〕

○技術的な知見を持つ職員で
なければ対応できない案件や
相談もあるため、技術者の確
実な確保に努められたい。

〔塩竈市公共駐車場の指定管
理者の指定についての要望
意見〕

○指定管理者を選定する際は、
これまで施設で勤務されてき
た方々が継続して雇用される
ような要件を設けるなど、地
元の方々の雇用に十分配慮さ
れたい。また、地元企業が参
入できるよう工夫されたい。



好調なふるさと納税 (県内他町との共通返礼品ポスター)

討 論

12月23日の本会議において討論を行いました。

その概要は次のとおりです。

議案第92号 特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

反対 桑原 成典 議員

議案第92号は、人事院勧告を踏まえ、特別職の期末手当を引き上げるものである。そもそも人事院勧告に拘束力はなく、総務副大臣通知では、地域の民間給与と各地方公共団体の財政状況を考慮し適切に対処することとされている。今回の引上げは、市の厳しい財政状況や民間給与の現状を勘案したのか疑問である。市民は物価高などで苦しい状況にあり、特別職の報酬引上げは人事院勧告に準拠せず、独自に判断すべきである。

議案第93号 塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例

反対 志子田吉晃 議員

議案第93号は、国のガイド

ラインとの相違などがあることから、1年間健康保険を利用しなかった国保世帯に対する表彰制度を廃止するものである。市は表彰制度の目的である健康意識の高揚や医療費適正化は、特定健診や特定保健指導に引き継がれ、本制度は役割を終えたと判断している。

表彰される国保世帯は、医療費がかかっていることがおき、医療費適正化に貢献しており、健康意識も高いと考えられる。保険料負担の公平性を考慮し、医療費がからなかった国保世帯に対し、褒賞としての表彰制度は残すべきである。現状の褒賞相当額は3千円から1万円であり、国民1人当たりの医療費38万円と比べると非常に少ない金額である。

また、表彰制度を廃止している自治体は多いが、独自の政策としてアピールすべきである。健康づくりへの参加を推奨する新たな予防・健康づくりの取組については、褒賞制度の有無に関わらず推進すべきであり、廃止する理由には当たらない。

以上のことから反対とする。

賛 成

小高 洋 議員

議案第93号は、医療給付を受けていない世帯への表彰制度を令和6年度で廃止するものである。これまでは国保税を完納し、医療給付を受けなかった世帯を「健康世帯」として、表彰状やクオカードを贈呈してきた。

医療給付を受けなかった世帯の健康維持の取組について、敬意を表する必要はないという趣旨や、財源を惜しむ目的で廃止に賛成するわけではない。表彰を行うことが、健康維持や増進に役立つならば、様々な形で継続すべきと考えている。

今回の条例改正については、本条例第10条の趣旨にある、健康増進という目的に照らした場合、医療給付を受けないこと、すなわち医療機関を受診しなかったことと、健康維持が必ずしもつながっているわけではないということである。

特定健診を受けることは、病気の早期発見や重症化を防ぐことにつながるが、そうした健診を表彰された世帯の実に82%が受診していなかったのである。つまり、医療機関

を受診していないという点だけでは、実際に健康維持ができていないのか判断することは難しい。また、表彰を目的に医療機関の受診を控えたことにより、病気が重症化する可能性も考えられる。このような点から、現行の制度は場合によって、健康増進に逆行する恐れがある。

表彰制度を廃止したとしても、医療機関を受診しなかった世帯に対して、取材やアンケート調査などを行い、健康維持の秘訣などを把握して、保健事業や今後の施策に活かしていく方針が示されている。これまで表彰されてきた世帯を含めた市民全体への丁寧な説明と納得を前提に、予防や健康づくりの施策が強化されることを期待している。

議案第94号 塩竈市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

反対 辻畑めぐみ 議員

議案第94号は、平成30年から国保の都道府県単位化が始まり、県が国保税率の統一化を目指す中で、令和11年度までに市の保険税率を標準保

険税率に近づけることを目標とし、令和7年度の市の保険税率を標準保険税率と市の現行税率との差の50%に当たる分の引上げ改定を行うものである。モデルケースでは所得260万円の4人世帯で、改定率は13・82%、5万7千5百円の負担増となり、さらに令和12年度の統一化まで引き上げる計画である。

宮城県が進める保険料水準の統一化については、市町村の事情を考慮せず、保険料の水準を一律にするものであり、市町村はそれぞれの事情に応じた各種施策が実施できなくなる。

国保の加入者は、年金生活者や非正規労働者の方が中心であり、国保には会社員などが加入する社会保険のような事業主負担はなく、国保税の金額は協会けんぽと比較し2倍の高さである。現状でも市民の負担は大きい。

医療費に対する国の負担が、かつての45%以上から30%程度に削減されたため、市町村の国保財政は厳しい状況となった。市は国に国庫負担の増額を求めるべきである。

以上のことから反対とする。

インターネット・宮城ケーブルテレビで 塩竈市議会中継を放送しています ～インターネットでは過去の録画もご覧いただけます～

インターネット

- ・パソコン
- ・スマートフォン
- ・タブレット端末

「塩竈市議会インターネット中継」をキーワードに
検索してください。

二次元コードでもアクセスできます。⇨



ケーブルテレビ

宮城ケーブルテレビ（マリネット）

[111ch] コミュニティチャンネルで生放送します。

インターネット放送では平成 28 年 9 月定例会以降の本会議、予算特別委員会、決算特別委員会などをご覧いただけます。本会議の一般質問、施政方針に対する質問については、議員名や会派名でも検索できます。ぜひご覧ください。

塩竈市議会だより・会議録 バックナンバーについてのお知らせ

塩竈市議会だより

塩竈市議会だよりのバックナンバーは
平成 16 年 6 月定例会号から塩竈市のホームページ
で公開しております。

「塩竈市議会だより」をキーワードに
検索してください。

二次元コードでもアクセスできます。⇨



塩竈市議会会議録

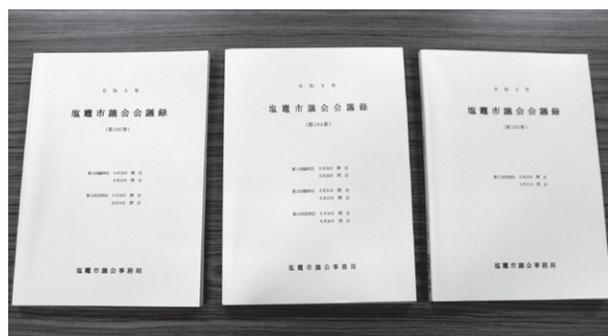
塩竈市議会会議録のバックナンバーは
平成 16 年第 1 回定例会から塩竈市のホームページ
で公開しております。

「塩竈市議会会議録」をキーワードに
検索してください。

二次元コードでもアクセスできます。⇨



なお、冊子は、塩竈市民図書館及びふれあいエスプ
塩竈で閲覧できます。





市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、12月18日、19日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から一部取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行ったその他の質問項目も掲載しています。



かしん
志賀 勝

塩竈市社会福祉協議会は

議員 ①本市の高齢者人口は引き続き増加することから、医療や介護の更なる需要増加が見込まれる。さらに、支える側の生産年齢人口は減少するため、社会保障制度を維持することが難しくなるという課題に直面している。そのような状況下で、今年5月に、本市の地域福祉の要とも言える「社会福祉法人塩竈市社会福祉協議会」（以下、社協）に、健全経営がされていない財務状況や不適切な事務処理などに対し改善勧告を行ったが、その後について伺う。②利用者の方や職員の方への説明はどのように行っているのか、内容は理解されているか。また、今後の社協との関わりを伺う。

市長 ①勧告公表後、8月に理事の方々と具体的な改善策について意見交換を行った。その際、自助努力による経営改善が困難なため、保育及び介護事業を事業譲渡し、社協本来の目的である地域福祉事業に専念したいとの提案があり、理事会で事業譲渡の方針決定を経て、9月に社協から事業譲渡に係る支援要請をされた。事業譲渡の目的が、保育及び介護サービスの安定的な提供と職員の継続雇用を前提とした財政状況の改善であるため、国や県の指導、支援を受けながら、円滑な事業譲渡に向けて支援に努めてきた。国から事業譲渡に係る公募手続が認められ、12月10日から公募開始の運びとなった。

議員 本市行財政改革の取組として、令和7年4月より各種団体に交付する補助金の見直しを行うこととしている。①市のホームページには、既に「補助金の見直しに関する基本方針」が掲載されているが、現時点で、議会にはその中身や考え方、新たな基準についての説明をしていないが手順的に問題はないか伺う。②また、本市の補助金交付の課題であると当局も認めている外部監査や第三者選考委員会の設置などは必要ではないかを伺う。

市長 ②外部の方に市のチェック体制の甘さや見るべき視点など指導してもらい適正に執行できるよう努力していく。

総務部長 ①今回掲載したものは決定ではなく、あくまで指針である。現在、各団体の状況を確認し意見を伺っている途中である。伺った意見などを整理し議会に報告した上で、条例や予算などに反映していく。今はまだヒアリング途中の段階である。

その他の質問項目

・本市の受益者負担の基本的な考え方は

議員 デジタルを用いたICT教育は、グローバル化・IT化において不可欠であることとは言うまでもない。しかし思考力・読解力の低下は否定できず、他国では端末から紙に戻した事例も見受けられる。NIE（教育に新聞を活用する）は、「書く」「聞く」「読む」「話す」を用いた最も効果的な取組ではないかと考える。「書は人なり」「字は体を表す」書かなくなつた子どもたちに本質は形成されるのか。成長途上である中学校での導入こそが本質を引き出すのではないか。本市の考えを伺う。

教育長 NIEの導入については、学校とよく相談し議論を深めてまいりたい。

学校教育課長 NIEの活用は、現在協力校として第二小学校の高学年児童を中心に取り組んでおり、低学年・中学年の児童にも楽しく見てもら



かしん
佐藤公男

NIEの活用は

えるよう新聞なども一緒に置いて掲示などを行っている。NIE活用の効果だけではないが、この取組により、記事を読む機会や交流が増え、読解力・表現力の向上につながってきているという教員や児童たちからの声もあり、一定の効果につながるものと認識している。

市営汽船は

議員 利用者からは、始発・最終便の時刻改正、待合室の不便さを指摘する声がある。現在、待合室はマリングレードを使用しているが、荒天



市営汽船

時は手荷物などの移動が困難であるといった意見も少なくない。マリングレードにある浦戸振興課、切符売場や、貨物受付室を、津波防災センターに集約すれば利用者の利便性も担保でき、防災センターの利用も図られることで防災意識も高まるのではないかと、また、貨物受付室のプレハブを移設して、野々島の待合室とすることも可能ではないか。本市の考えを伺う。

市民生活部長 現在策定している第三期塩竈市交通事業会計経営健全化計画案の中で、津波防災センターへの事務所移転や貨物受付室の集約などを検討しているが、津波防災センターは、東日本大震災復興交付金事業を活用して整備しており、補助金適正化法の目的外使用とならないよう関係機関と協議を重ねている。移転による効率化や人件費などの経費削減も見込まれると考えている。また、野々島の待合室は利便性を高めるためにも今後検討してまいりたい。

その他の質問項目

- ・交通安全対策は
- ・マリングレード塩釜は

市政に対する一般質問



日本共産党
塩釜市議員
鈴木悦代

学校規模適正化の検討は

議員 現在、学校規模適正化等検討委員会で素案づくりを進めている。小規模校を吸収統合するのではなく、それぞれの学校が対等な立場で、よい教育環境や、新しい学校の在り方を検討するものと認識している。地域文化やコミュニティの在り方にも関わることであり、市民と合意形成に至るまでのプロセスが最も重要である。少子化に歯止めをかけるためには、魅力ある教育環境が必要であり、まちづくりでも対策が求められる。

①素案策定のスケジュールと、市民団体から提出された、学校規模適正化の進め方などに対する要望書の受け止めを伺う。②学級編成の規模や1クラス当たりの人数は、どのように考えているのか。

市長 ①学校再編はデリケートな問題で議論が進んでこなかったが、PTAなどから議

論のたたき台を求める声をいただいている。空き教室が多数あることや1クラス当たりの児童数の現状を踏まえて、たたき台を作成し、3年以内を目安に成案化に取り組んでいく。様々な意見をいただき、地域の文化なども考慮し、適切な方針を示してまいりたい。

教育長 ①学校規模適正化等検討委員会では、学校規模の適正化等に関する方針案を議論しており、1月に答申をいただく予定。年度内の方針案策定に向け取り組んでいる。3年以内に成案化したいと考えており、幅広く意見をいただき丁寧に進めてまいりたい。

②小学校は2クラス以上、中学校は3〜4クラスと考えている。1クラスの人数は国の基準により、小学校35人、中学校は1年生35人、2・3年生40人と考えている。

学校での平和学習の取組は

口が問題となった。今回、オスの受賞式に参加した仙台市在住の被爆者は、「受賞は、これからの世代に引き継いでいくスタートライン」と表明した。平和学習の教材は、被爆証言を忠実に描いた高校生の絵や朗読組曲、演劇など様々ある。原爆投下80年の節目となる令和7年の一つでも取り入れてはいいかがか。

学校教育課長 月見ヶ丘小学校では6年生の社会科において、退職女性教員で構成された団体の語り部を20名ほど招き、講話をいただいた。もんぺ姿に扮した語り部の皆様から戦争当時の話を伺ったり、当時の歌を歌っていただいたりして、戦時中の暮らしや戦争の悲惨さ、平和のありがたさを学んだ。児童からは、「戦争の恐ろしさが伝わって怖かった」などの感想があった。このような生の声を聞く機会は大変重要である。各学校が工夫して、主体的に平和学習に取り組めるよう考えてまいりたい。

その他の質問項目

- ・廃棄物処理施設の更新は
 - ・自衛隊への個人情報提供は
- など



日本共産党
塩釜市議員
小高 洋

行財政改革と受益者負担の考え方は

議員 市の各種手数料、利用料が一部施設などを除き来年度から引き上げられるが、第5次行財政改革推進計画における受益者負担の位置付け、考え方と、使用料・手数料などにおける受益者負担の最適化の考え方を伺う。受益者負担については、対価原則・負担均衡の原則だけではなく、応能負担、政策反映の原則などに基づき、広く議論を行い受益者負担の在り方を定めていくプロセスが重要である。手数料・使用料についてはその性質、例えば広く市民が利用するもの、利用せざるを得ないものなどについて、一定の減免規定を設けることや低廉化、無料化するなどの見直しを行う考えはあるか。

市長 持続可能な行財政運営の実現を目的とした「第5次行財政改革推進計画」において定めたアウトソーシングや

業務改善などの計画項目を、順次実行している。

受益者負担の原則を基本的な考え方として、9月定例会において手数料や利用料の改定に係る条例の議決をいただいたところである。

総務部長 原価や市場性、必要性を考慮して手数料や利用料を算出していくが、他の周辺自治体の水準よりも高い場合は一定程度引き下げの調整が必要と考えている。急激な負担増にならないようにする必要もある。公的な目的の場合は減免措置を整備する。減免規定については施設により異なる部分があることから整理させていただきながら急激な負担増にならないよう注意していく。

庁舎建設と廃棄物処理施設整備は

議員 市で掲げる7つの重点課題のうち、庁舎建設と廃棄物処理施設について、現在の検討状況と課題を伺う。

建設費用などに対する補助金や一般財源からの支出すべき金額とその財源は。

今後の方向性として、建設

凍結なども含んだ検討となるのか。特に現庁舎について耐震性・安全性などの調査を行うべきと考えるがいかがか。

総務部長 庁舎については基本計画の中間案を取りまとめるところであり、建設場所は今の場所を第一候補とした。事業費の積算を進めている。

市民生活部長 廃棄物処理施設整備費用は整備事業者アンケートの回答において平均約133億円。将来的な財政負担を見据えて慎重に精査する。



市役所本庁舎

その他の質問項目
・学習環境の整備は
・不登校児童への支援は



市民クラブ
今野 恭一

市役所庁舎整備等の進捗状況は

議員 ①緊急防災・減災事業債の期限に間に合わせようと、本庁舎の建て替えに懸命に取り組んでいるがいかがか。

②ごみ処理施設の建て替えに係る概算事業費は219億円である。本庁舎の建て替えと並行して整備できるのか伺う。

③ごみ処理施設の建て替えを優先し、本庁舎の建て替えは建設地の選定も含め、時間をかけるべきである。塩釜駅や本塩釜駅の駅前周辺に建設し、市民が誇れる庁舎となるよう整備すべきではないか。

市長 ①本庁舎の建て替えは緊急防災・減災事業債の期限である令和7年度までに間に合わせることを目指し、慎重に検討を重ねている。今後も様々な意見をいただき、基本設計の策定に向けた準備は進めてまいりたい。

総務部長 ②建て替えに係る想定事業費が大幅に増加し、

財源に制限が出てきている。長期的な視点に立ち、過度な市民負担とならないよう慎重に議論を進めている。③本庁舎の建設候補地は13か所を比較検討し、その中から2か所に絞り、市民から意見をいただきながら慎重に進めてきた。現段階では計画どおり進めてまいりたい。

西町集会所は

議員 西町の集会所の整備については、平成12年度予算特別委員会で「市長からの指示は、集会所的な施設と公衆トイレを併せたようなものでま



塩釜西町郵便局駐車場

とめるようにと指示を受けている」という内容で当時の助役が答弁している。それから25年経つところだが、整備に至っていない。塩釜西町郵便局に駐車場として貸している市有地を使って建設していただきたい。来年度予算に組み込み実現していただきたい。

市長 老朽化や地盤沈下などの問題を抱えた集会所が複数ある。助成金を活用した集会所の整備は、自己負担額を用意することが難しい町内会もあると伺っている。西町町内会を優先することは、現状では難しい状況と考えている。平成12年度予算特別委員会で発言は議事録を精査し、経緯を確認させていただきたい。

市民生活部長 全町内会が集会所を所有しているわけではなく、個人宅や公共施設を利用して町内会もある。市として集会所の新規整備などの予定はないが、地域住民が主体的に整備を進められるよう補助金制度による支援などを継続してまいりたい。

その他の質問項目
 ・ 門前町の再生は
 ・ 産業創出再生は



塩竈維新の会
桑原成典

猛暑対策は

を学校に取り付けることを提案する。体感温度を一気に下げ、水道代、多額の工事予算もかからず安価で簡単に設置ができる。是非、子どもたちの熱中症事故を防ぐために検討をしていただきたい。

議員 近年、猛暑の影響で体育の授業時や部活動時に熱中症で救急搬送されたとの報道が多く散見される。熱中症事故防止の観点で伺う。①現状各学校ではどのような対策、注意をしているのか伺う。②屋外での対策はどのようにしているのか伺う。③熱中症対策として、ミストシャワー



ミストシャワー設置例 (画像提供: 千葉県館山市)

を学校に取り付けることを提案する。体感温度を一気に下げ、水道代、多額の工事予算もかからず安価で簡単に設置ができる。是非、子どもたちの熱中症事故を防ぐために検討をしていただきたい。

市長 ①気象情報や暑さ指数などを把握し、指針などに基づいて教育活動の実施判断を行っている。健康観察や水分補給の徹底に努めているほか、授業内容などの変更や延期も含めた対応を取っている。③暑さ対策は街中も課題。ミストシャワーの設置については前向きに考えていきたい。

学校教育課長 ②暑さ指数が31以上の場合、運動は行わないことを徹底しており、直ちに運動を中止して涼しい場所への移動や水分補給を行い、冷房のある教室内での授業に切り替えている。

議員 ①本市の寄附の使い道は5つの選択肢があるが、これはどのように決めたのか伺う。②使い道が非常に曖昧だと感じる。もつと何に使用さ

ふるさと納税は

れるか明確にされるべき。また実際本当にその事業に使用されているのか伺う。③使い道のメニューを一度一新する必要はあるのではないかと。当局の考えを伺う。④市民や寄附者に、何に使用したかオープンにしていくべき。行政の透明化という部分で大変重要なことである。令和元年まではしっかりと本市のホームページに掲載があったが、今はない。掲載するべきである。



塩釜を元気にする会
土見大介

塩竈の産業振興策は

政策課長 ①第6次長期総合計画のしおがま未来創生プロジェクトに掲げている4つのプロジェクトに基づいて設定している。②例えば、よろこび実感の項目では4420件、6970万2千円の寄附をいただいた。主な使い道としては民間保育施設の新設費用の一部を補助する「就学前教育・保育施設整備等補助事業」に活用させていただいた。

③先進事例も含め、検討を進めていきたい。④指摘を踏まえて、早速資料をホームページにて公表したところである。

その他の質問項目
 ・ 災害協定と防災意識向上は
 ・ 各種委員会の委員構成は
 ・ 第三セクターは

塩竈の基幹産業である水産・水産加工業は、長い歴史の中で構造的な課題が山積している。人材育成やインフラ整備、他分野との連携による新価値創造など大掛かりな改革が必要と考えるが、市は中長期的な水産・水産加工業振興策をどう考えているのか、施策の具体的な目標を伺う。

また、販路の拡大やビジネスチャンスの創出のための事業を積極的に実施しているが、その効果検証と施策の改善は行われているかを伺う。

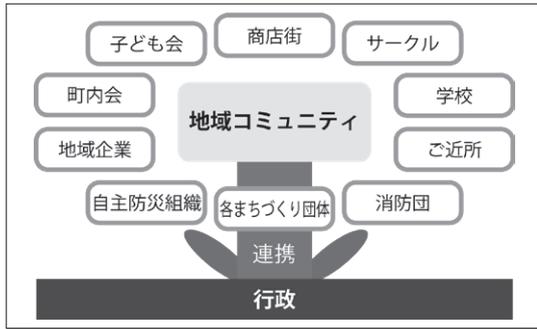
市長 当面の目標は水産業、水産加工業者の皆様の事業継続を支援するための販路拡大と、ビジネスチャンスの確保と捉えている。地球温暖化による漁業不振や円安の状況下において、まずは商売を成り立たせた上で今を乗り越えたいと将来がない。

産業建設部長 中長期的な支

援策としては、衛生管理型の魚市場の整備である。また「三陸塩竈ひがしもの」のようなブランディングを他の製品でできないか事業者の皆様と意見交換をしている。販路拡大施策の効果はあったものと認識しているが、継続的な取引につながっているか見ていく。提携先からバイヤーの評価データを提供していただき、各事業者の製品の磨き上げのヒントに使っていききたい。

地域コミュニティによる社会課題の解決は

議員 町内会や民生委員、社会課題解決型まちづくり団体など、様々な地域コミュニティが、それぞれの分野で行政の活動を補完することで地域は成り立っているが、少子化や高齢化、地域ニーズの多様化などにより、構成員の高齢化や担い手不足が生じている。また、地域コミュニティに参加すること自体に孤独や孤立を防ぎ健康増進や生活の質を向上させるなどの効果が期待できることから、地域コミュニティの活性化は今後必須となる課題である。市とし



地域コミュニティの活性化が必須

ての地域コミュニティ活性化策を伺う。協働推進室をコミュニティ政策の拠点と位置付けて、その運営を民間に委託することが効果的と考え、市の考えを伺う。

市長 町内会の在り方については大きく見直すべき時期だと考えており、庁内でこれから検討していく。

市民生活部長 令和4・5年度に町内会の活動を経済的に支援する事業、今年度は地域コミュニティの形成に役立つ物品を配布しコミュニティのにぎわいを図る事業を行った。協働推進室の民間委託について検討予定はないが、仮に検討するとなれば先進事例などの方法を参考にしていきたい。



公明党
小野 幸男

聴覚補助器等の活用支援は

議員 高齢化に伴い、難聴の方が年々増加している。加齢性難聴は本人に難聴の自覚がないことがよくある。耳鼻科を受診することなく、難聴が放置されたままになっている高齢者は多い。高齢者が早く難聴に気づき、聴覚補助器などの使用を正しく理解できるように普及啓発に努める必要がある。①聴覚補助器などを必要とする方々への情報提供の機会や、補聴器のお試し利用ができる場所の環境整備などが必要と考えるがいかがか。

②高齢者のヒアリングフレイル(聞き取る機能の衰え)予防を推進するための啓発活動のほか、医師や専門家へつなぐための聴力検査の受診勧奨は重要であるが、見解を伺う。

③自分に合う補聴器を積極的に活用できる環境を整えるため、購入費の助成制度の創設は、大変有意義と考えるがい



軟骨伝導イヤホン (画像提供：富谷市)

かがか。④軟骨伝導イヤホンは音漏れが少ないため、プライバシー保護などの観点から、早急に窓口へ設置すべきと考えるがいかがか。

市長 ①コミュニケーション不足による認知症予防などの観点から、聴覚補助器の活用支援については必要性を認識している。他自治体の事例を参考に、加齢性難聴に関する知識の普及啓発に努めてまいりたい。今後、高齢者のニーズや先進事例の効果などを踏まえ、医療機関や専門業者と協議し、聴覚補助器のお試し利用を検討してまいりたい。

福祉ことも未来部長 ②ヒアリングフレイルの予防や問題

は重要な課題である。加齢性難聴は一般的な難聴とは異なる点があり、高音が聞こえにくいことが特徴である。難聴の予防に関する知識の習得や、専門医や医療機関などとの連携は不可欠と認識している。先進的な取組を調査研究しながら本市にできる取組を検討してまいりたい。③軽度・中等度の聴覚障がいがある方への補聴器に関する助成は、県内で5自治体が実施している。介護予防の推進に関する方策と効果についても注視しながら、加齢性難聴対策の普及啓発を行っていき、段階を経ながら助成制度導入についての検討を進めていければと考えている。

生活福祉課長 ④軟骨伝導イヤホンを導入した他自治体においては、利用者からは好評であったと伺っている。市では今年度中に生活福祉課の窓口で試行的に導入したいと考えている。利用状況や利用者の感想を踏まえ、他窓口への設置も検討してまいりたい。

その他の質問項目

- ・リチウム蓄電池などの処理は
- ・マイナンバーカードは

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対 /：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号・件名	会派名・議員氏名														審議結果				
		日本共産党 塩釜市議団				市民クラブ			塩竈維新の会		塩釜を元気に する会		公明党		かいしん					
		伊勢 由典	小高 洋	辻畑めぐみ	鈴木 悦代	鎌田 礼二	志子田 吉晃	今野 恭一	桑原 成典	西村 勝男	伊藤 博章	土見 大介	柏 恵美子	浅野 敏江	小野 幸男	菅原 善幸	志賀 勝	鈴木 新一	佐藤 公男	
12月定例会	承認第2号 専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第91号 一般職の職員の給与に関する条例及び塩竈市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第92号 特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	×	×	×	×	/	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	原案可決
	議案第93号 塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	/	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	原案可決
	議案第94号 塩竈市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
	議案第95号 塩竈市水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第96号 令和6年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第97号 令和6年度塩竈市立病院事業会計補正予算	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第98号 塩竈市公共駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第99号 塩竈市公民館本町分室及び塩竈市杉村惇美術館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第100号 令和6年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

今年十二支で巳年、六十干支では、「乙巳（きのとみ）」にあたります。「乙」は草木の幼芽がこれから伸びる状態、「巳」は脱皮をして成長する蛇のイメージから再生や変化といった意味であるとも言われています。皆様にとって、これまでの努力が実を結ぶ年になりますよう、お祈り申し上げます。

編集後記

定例会傍聴のお知らせ
定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されています。
本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴される方は、市役所（本庁舎）4階の傍聴席へお気軽においでください。
なお、傍聴の際は、携帯電話をお持ちの方は、電源を切ってから入室をお願いいたします。
詳しくは、議会事務局（電話 35516793）まで。

次回の定例会は
2月19日(水)
午後1時開会予定です

- 議会報編集委員会
- 委員長 志子田 吉晃
 - 副委員長 小高 洋
 - 委員 佐藤 公男
 - 委員 菅原 善幸
 - 委員 桑原 成典
 - 委員 土見 大介

げます。
昨年を振り返りますと、夏の猛暑は生命の危機に関わる段階であり、また海水温の上昇により不漁や養殖の生育不良の問題が広がっています。
また、公共施設の老朽化対策は待ったなしであり、ごみの焼却施設の老朽化や最終処分場のごみ受け入れの限界が近づいている問題、建設から60年以上経過し、手狭でエレベーターも無く、関連する窓口が全く別の場所に設置されているといった問題を抱える市役所庁舎の建て替えなど、解決には多額の負担が必要な課題を多く抱えております。
今年も議会では諸課題に対して議論を尽くし、皆様の疑問解消やより良い政策の実現に向けて活動いたします。